

# (1日目)：7月23日(土) プログラム

A会場：大ホール

## ■ 9：25～9：30 開会挨拶

現地開催

アーカイブ配信

## ■ 9：30～10：15 大会長講演

現地開催

アーカイブ配信

### 日常生活にみる、子どもと大人のトラウマティック・ストレス

座長：松浦 正一（帝京平成大学 健康メディカル学部心理学科）  
演者：笠原 麻里（医療法人財団青溪会駒木野病院）

## ■ 10：20～12：10 大会企画シンポジウム I

現地開催

アーカイブ配信

### 子どものころを社会はいかに守るのか

座長：田中 究（ひょうごこころの医療センター）  
八木 淳子（岩手医科大学、いわてこどもケアセンター）  
シンポジスト：奥山眞紀子（子どもの虐待防止センター）  
上野 千穂（京都市第二児童福祉センター 診療所）  
齋藤 梓（目白大学心理学部、公益社団法人被害者支援都民センター）

#### 子どもの権利を保障する仕組みをつくる～子ども基本法とこれから～

奥山眞紀子（子どもの虐待防止センター）

#### 子どものころを守るために、児童相談所ができること

上野 千穂（京都市第二児童福祉センター 診療所）

#### 子どもの性暴力被害に関わる刑法改正を考える—性的同意（年齢）を中心に

齋藤 梓（目白大学心理学部、公益社団法人被害者支援都民センター）

## ■ 12：30～13：30 ランチョンセミナー

現地開催

アーカイブ配信

### 感情を生み出す認知神経メカニズム

司会：森山 泰（医療法人財団青溪会駒木野病院）  
講師：梅田 聡（慶應義塾大学文学部心理学研究室）  
共催：ハートフルグループ 株式会社北野薬局

## ■ 13：40～14：40 特別講演

現地開催

アーカイブ配信

### 信じるのは奇跡ではなく回復 —依存症の治療過程—

座長：大澤 智子（兵庫県こころのケアセンター）  
演者：菊本 弘次（医療法人財団青溪会駒木野病院）

## アディクションとトラウマ

- 座長：前田 正治（福島県立医科大学医学部 災害こころの医学講座）  
笠原 麻里（医療法人財団青溪会駒木野病院）  
シンポジスト：松下 幸生（独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター）  
柳橋 達彦（自治医科大学附属病院とちぎ子ども医療センター 子どもの心の診療科）  
中里 容子（明治大学子どものこころクリニック）

### 東日本大震災と依存行動

- 松下 幸生（独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター）

### 小児期のトラウマ体験とゲーム障害

- 柳橋 達彦（自治医科大学附属病院とちぎ子ども医療センター 子どもの心の診療科）

### アディクションとトラウマ—子どもと親の心に関わる立場から—

- 中里 容子（明治大学子どものこころクリニック）

# (2日目)：7月24日(日) プログラム

A会場：大ホール

## ■ 9：00～10：30 シンポジウム 1

現地開催

アーカイブ配信

### 災害の長期的影響：被災者はいかに回復し、あるいは問題が残されるか

企画者・座長：前田 正治（福島県立医科大学医学部 災害こころの医学講座）  
座長：高橋 晶（筑波大学医学医療系災害・地域精神医学講座）  
シンポジスト：松本 和紀（こころのクリニックOASIS）  
水木 理恵（福島県立医科大学 放射線医学県民健康管理センター）  
矢田部裕介（医療法人信愛会玉名病院）  
指定討論者：八木 淳子（岩手医科大学医学部 神経精神医学講座）

- S-1-1 東日本大震災からの10年を経て：災害トラウマからの回復へと向きあう若者たち  
松本 和紀（こころのクリニックOASIS）
- S-1-2 原子力災害が与える子どもの暮らしへの影響  
水木 理恵（福島県立医科大学 放射線医学県民健康管理センター）
- S-1-3 みなし仮設に潜在するメンタルヘルス課題  
矢田部裕介（医療法人信愛会玉名病院）

## ■ 10：40～12：10 シンポジウム 2

現地開催

アーカイブ配信

### 現場が欲する支援者支援：災害が与える支援者への中長期的影響と今後の課題

企画者・座長：大澤 智子（兵庫県こころのケアセンター）  
シンポジスト：佐久間 篤（東北大学病院精神科）  
瀬藤乃理子（福島県立医科大学 医学部 災害こころの医学講座）  
高橋 葉子（公立大学法人 山形県立保健医療大学 客員研究員）  
指定討論者：加藤 寛（兵庫県こころのケアセンター）

- S-2-1 災害支援者の中長期的なメンタルヘルス ～東日本大震災とCOVID-19対応の共通点と差異～  
佐久間 篤（東北大学病院精神科）
- S-2-2 原発事故の影響を大きく受けた自治体で働く職員の長期的なメンタルヘルスとレジリエンス  
瀬藤乃理子（福島県立医科大学 医学部 災害こころの医学講座）
- S-2-3 COVID-19流行下における看護職のメンタルヘルス  
高橋 葉子（公立大学法人 山形県立保健医療大学 客員研究員）

## ■ 13:00 ~ 14:30 シンポジウム 3

現地開催

アーカイブ配信

### PTSD に対する薬物療法：今後の展望を考える

企画者・シンポジスト：重村 淳（目白大学保健医療学部）  
企画者・座長：金 吉晴（国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所）  
座 長：黒澤 美枝（武蔵野大学心理臨床センター）  
シンポジスト：内田 裕之（慶應義塾大学医学部 精神・神経科学教室）  
堀 弘明（国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所行動医学研究部）  
松本 和紀（こころのクリニックOASIS）

#### S-3-1 PTSD 薬物療法の歩み：国内外の動向

重村 淳（目白大学保健医療学部）

#### S-3-2 精神展開剤（psychedelics）によるうつ病・PTSD 治療の可能性

内田 裕之（慶應義塾大学医学部 精神・神経科学教室）

#### S-3-3 メマンチンによる PTSD 治療の試み

堀 弘明（国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所行動医学研究部）

#### S-3-4 臨床実践から考える PTSD/トラウマに対する薬物療法

松本 和紀（こころのクリニックOASIS）

## ■ 14:40 ~ 16:10 シンポジウム 4

現地開催

アーカイブ配信

### 様々な分野における COVID-19 コロナ禍の心理的負荷を見つめ直す

企画者：榎屋 二郎（東京医科大学精神医学分野）  
座長・指定討論者：高橋 晶（筑波大学 医学医療系 災害・地域精神医学、茨城県立こころの医療センター、筑波メディカルセンター 精神科）  
座 長：小野 美樹（東京医科大学精神医学分野）  
シンポジスト：辻 孝弘（東京医科大学 学生・職員健康サポートセンター）  
竹林 唯（福島県立医科大学医学部災害こころの医学講座）  
切手 俊弘（滋賀県健康医療福祉 医療政策課）

#### S-4-1 新型コロナウイルス感染症流行下における医学部学生のメンタルヘルス

辻 孝弘（東京医科大学 学生・職員健康サポートセンター）

#### S-4-2 新型コロナウイルス感染症対応における福祉施設職員のメンタルヘルス

竹林 唯（福島県立医科大学医学部災害こころの医学講座）

#### S-4-3 保健所などにおける新型コロナウイルス感染症対応職員のメンタルヘルス

切手 俊弘（滋賀県健康医療福祉 医療政策課）

#### S-4-4 長期化した新型コロナウイルス感染症対応における医療従事者のメンタルヘルス

高橋 晶（筑波大学 医学医療系 災害・地域精神医学、茨城県立こころの医療センター、筑波メディカルセンター 精神科）

## B会場：小ホール

### ■ 9:00～10:30 シンポジウム 5

現地開催

アーカイブ配信

#### アンチ・トラウマに焦点を当てた認知行動療法： トラウマへの様々な心理療法アプローチ

企画者・座長：伊藤 正哉（国立精神・神経医療研究センター）  
シンポジスト：池田 暁史（大正大学、精神分析個人開業）  
窪田 絵理（Spectrum Behavioral, P.C.）  
大月 友（早稲田大学人間科学学術院）  
浅野 憲一（目白大学心理学部心理カウンセリング学科）

##### S-5-1 ト라우マに対するメンタライゼーションに基づく治療

池田 暁史（大正大学、精神分析個人開業）

##### S-5-2 加速化体験力動療法（Accelerated Experiential Dynamic Psychotherapy = AEDP） の紹介とAEDPのトラウマへのアプローチ

窪田 絵理（Spectrum Behavioral, P.C.）

##### S-5-3 アクセプタンス&コミットメント・セラピー

大月 友（早稲田大学人間科学学術院）

##### S-5-4 コンパッション・フォーカスト・セラピーによるトラウマへの心理支援

浅野 憲一（目白大学心理学部心理カウンセリング学科）

### ■ 10:40～12:10 シンポジウム 6

現地開催

アーカイブ配信

#### ジェンダーに基づく傷つきと支援体制

企画者・座長：野坂 祐子（大阪大学大学院人間科学研究科）  
シンポジスト：金井 聡（LGBTハウジングファーストを考える会・東京）  
松本 和子（NPO法人女性ネット Saya-Saya）  
千野 洋見（NPO法人女性ネット Saya-Saya）  
村山かおる（NHK報道局報道番組センター）  
指定討論者：宮地 尚子（一橋大学大学院社会学研究科）

##### S-6-1 貧困により住まいを失ったセクシュアルマイノリティ支援の実践から

金井 聡（LGBTハウジングファーストを考える会・東京）

##### S-6-2 地域においてGBV被害女性と子どもを支援する取り組み

松本 和子・千野 洋見（NPO法人女性ネット Saya-Saya）

##### S-6-3 性暴力の取材からみえるジェンダーの問題と支援の現状

村山かおる（NHK報道局報道番組センター）

## ■ 13:00～14:30 シンポジウム7

現地開催

アーカイブ配信

### 児童思春期のいじめ問題の現状

企画者・座長： 八木 淳子（岩手医科大学医学部神経精神科学講座、岩手医科大学附属病院児童精神科）  
シンポジスト： 榎屋 二郎（東京医科大学精神医学分野、ふくしま子どもの心のケアセンター）  
野村 武司（東京経済大学現代法学部、獨協地域と子ども法律事務所）  
樋端 佑樹（信州大学医学部子どものこころの発達医学教室、かとうメンタルクリニック）

#### S-7-1 子どものいじめ被害による短期から長期にわたる影響

榎屋 二郎（東京医科大学精神医学分野、ふくしま子どもの心のケアセンター）

#### S-7-2 学校でのいじめの構造・特徴と対処等について～いじめによる「傷つき（または苦痛）」を踏まえて

野村 武司（東京経済大学現代法学部、獨協地域と子ども法律事務所）

#### S-7-3 インターネット、SNS でのいじめの特徴と理解

樋端 佑樹（信州大学医学部子どものこころの発達医学教室、かとうメンタルクリニック）

## ■ 14:40～16:40 学会本部企画

現地開催

アーカイブ配信

### 戦災とトラウマ

企画： 学会本部  
協力： 国際交流委員会  
企画者・ファシリテーター 大江美佐里（久留米大学）  
指定討論者： 中島 聡美（武蔵野大学）  
演者： Natalia Nalyvaiko（ESTSS（欧州トラウマティック・ストレス学会）理事、ウクライナ）  
演者・討論者： Jana D. Javakhishvili（イリア国立大学教授、ジョージア）

#### 第一部：

##### ビデオメッセージ

Natalia Nalyvaiko（ESTSS（欧州トラウマティック・ストレス学会）理事、ウクライナ）

##### 講演

「戦災者のメンタルヘルス支援ニーズに対応する：ジョージアとウクライナでの経験から」

演者 Jana D. Javakhishvili（イリア国立大学教授、ジョージア）

#### 第二部：討論会

## C会場：第1展示室

### ■ 9:00～10:30 シンポジウム 8

現地開催

アーカイブ配信

#### 傷つきを抱えた親子への支援－支援体制をどう構築・拡充するか？－

企画者・シンポジスト：小平 雅基（総合母子保健センター愛育クリニック小児精神保健科）  
座長：細金 奈奈（総合母子保健センター愛育クリニック）  
柳橋 達彦（自治医科大学附属病院とちぎ子ども医療センター 子どもの心の診療科）  
シンポジスト：長江美代子（日本福祉大学）  
小平かやの（東京都児童相談センター）  
大重 耕三（岡山県精神科医療センター）

- S-8-1 児童精神科医療機関での活動を中心として  
小平 雅基（総合母子保健センター愛育クリニック小児精神保健科）
- S-8-2 大学での活動を中心として  
長江美代子（日本福祉大学）
- S-8-3 児童相談所における傷つきを抱えた親子への支援  
小平かやの（東京都児童相談センター）
- S-8-4 岡山県における児童虐待予防のためのネットワーク構築の取り組み  
～点・線から波へ～  
大重 耕三（岡山県精神科医療センター）

### ■ 10:40～12:10 シンポジウム 9

現地開催

アーカイブ配信

#### 学校臨床場面でのトラウマ

企画者・座長：岩切 昌宏（大阪教育大学学校安全推進センター）  
シンポジスト：中村 有吾（徳島大学キャンパスライフ健康支援センター）  
小倉 正義（鳴門教育大学大学院学校教育研究科）  
吉田 博美（駒澤大学 学生支援センター、武蔵野大学心理臨床センター）

- S-9-1 第三層目の支援効果を高めるユニバーサルな取り組みを考える  
中村 有吾（徳島大学キャンパスライフ健康支援センター）
- S-9-2 学校での発達障害支援とトラウマ理解  
小倉 正義（鳴門教育大学大学院学校教育研究科）
- S-9-3 学生支援におけるトラウマインフォームドアプローチの実践と再現性  
吉田 博美（駒澤大学 学生支援センター、武蔵野大学心理臨床センター）

## 子どもへの性暴力：被害－加害への介入と支援の充実に向けて

企画者・座長：野坂 祐子（大阪大学大学院人間科学研究科）

大岡 由佳（武庫川女子大学心理・人間関係学科）

シンポジスト：櫻井 鼓（追手門学院大学、横浜思春期問題研究所）

中野 葉子（原宿カウンセリングセンター）

大山みち子（武蔵野大学人間科学部人間科学科、広尾心理臨床相談室）

### S-10-1 SNS を介した子どもの性被害の実態

櫻井 鼓（追手門学院大学、横浜思春期問題研究所）

### S-10-2 家族における性虐待：「被害－加害」を取り巻く暴力の構造

中野 葉子（原宿カウンセリングセンター）

### S-10-3 若年者への顕在化しにくい性暴力について－コミュニティ・被害と加害－

大山みち子（武蔵野大学人間科学部人間科学科、広尾心理臨床相談室）



## D会場：第2展示室

### ■ 9:00～10:30 シンポジウム 11

現地開催

アーカイブ配信

#### ICD-11におけるComplex PTSD：診断の基本と中核群症例臨床の実際

企画者・座長・シゴジスト：大江美佐里（久留米大学保健管理センター、久留米大学医学部神経精神医学講座）

シゴジスト：石田 哲也（久留米大学医学部神経精神医学講座）

早川 宜佑（駒木野病院 児童精神科）

##### S-11-1 ICD-11 診断でのComplex PTSD 総論

大江美佐里（久留米大学保健管理センター、久留米大学医学部神経精神医学講座）

##### S-11-2 心理職の立場からComplex PTSDへの対応を考える

石田 哲也（久留米大学医学部神経精神医学講座）

##### S-11-3 誰も信じられずに自傷を繰り返すしかなかった中学生女兒Aの治療経過

早川 宜佑（駒木野病院 児童精神科）

### ■ 10:40～12:10 シンポジウム 12

現地開催

アーカイブ配信

#### 遷延性悲嘆症の概念と治療の動向～DSM-5-TRとICD-11を受けて～

企画者・座長：黒澤 美枝（武蔵野大学心理臨床センター）

座 長：藤代 富広（埼玉県警察本部）

企画者・シゴジスト：中島 聡美（武蔵野大学人間科学部）

シゴジスト：吉池 卓也（国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 睡眠・覚醒障害研究部）

清水加奈子（聖路加国際病院リエゾンセンター精神科）

中山 千秋（武蔵野大学大学院人間社会研究科博士後期課程、

国立精神・神経医療研究センター認知行動療法センター）

##### S-12-1 Prolonged grief disorderの概念・診断基準の動向 —DSM-5-TRによって診断基準は統合されるのか？—

中島 聡美（武蔵野大学人間科学部）

##### S-12-2 遷延性悲嘆症の生物学的理解：接近と回避に着目して

吉池 卓也（国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 睡眠・覚醒障害研究部）

##### S-12-3 「遷延性悲嘆症」の効用と限界

清水加奈子（聖路加国際病院リエゾンセンター精神科）

##### S-12-4 遷延性悲嘆症に対するオンライン治療についての動向

中山 千秋（武蔵野大学大学院人間社会研究科博士後期課程、

国立精神・神経医療研究センター認知行動療法センター）

## ■ 13:00～14:30 シンポジウム 13

現地開催

アーカイブ配信

### 自殺とトラウマティックストレス

企画者・座長：西 大輔（東京大学大学院医学系研究科精神保健学分野）  
シンポジスト：本橋 豊（国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所）  
池下 克実（いちメンタルクリニック日本橋）  
石井 綾華（特定非営利活動法人 LightRing）  
指定討論者：岩井 圭司（兵庫教育大学大学院 人間発達教育）

- S-13-1 自殺とトラウマティックストレス—公衆衛生の観点から  
本橋 豊（国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所）
- S-13-2 自殺未遂者支援におけるトラウマケアの視点  
池下 克実（いちメンタルクリニック日本橋）
- S-13-3 子ども若者の自殺予防とトラウマティックストレス  
石井 綾華（特定非営利活動法人 LightRing）
- S-13-4 指定討論：とくに職業“倫理”，専門職文化の観点から  
岩井 圭司（兵庫教育大学大学院 人間発達教育）

## ■ 14:40～16:10 シンポジウム 14

現地開催

アーカイブ配信

### 日常に潜むトラウマとポリヴェーガル理論

企画者・座長・シンポジスト：花丘ちぐさ（国際メンタルフィットネス研究所）  
シンポジスト：白川美也子（こころとからだ・光の花クリニック）  
田中千佐子（アレクサンダーテクニーク インターナショナル）

- S-14-1 複雑性 PTSD とポリヴェーガル理論  
花丘ちぐさ（国際メンタルフィットネス研究所）
- S-14-2 複雑性 PTSD を複眼視的に診る  
白川美也子（こころとからだ・光の花クリニック）
- S-14-3 ポリヴェーガル理論®を進化と身体側面からみていく  
田中千佐子（アレクサンダーテクニーク インターナショナル）

■ポスターセッション

- P-1 福島県南相馬市内のメンタルクリニックにおける PTSD 症例の診療状況についての実態調査  
堀 有伸 (ほりメンタルクリニック、福島県立医科大学神経精神医学講座)
- P-2 東日本大震災被災者の2年間の悲嘆反応スコアの変化における余暇の使い方の影響について  
大野 桃香 (東北大学医学部医学科)
- P-3 東日本大震災後後に出生した子どもの行動上の問題と保護者の精神健康の関連についての縦断的検討—交差遅延モデルを用いて—  
千葉 柊作 (岩手医科大学附属病院児童精神科、東北大学大学院教育学研究科)
- P-4 東日本大震災後の福島県における発達障害のある子どもとその保護者への支援の検討  
川島 慶子 (福島学院大学)
- P-5 感染状況別にみた救急活動に関わる負担と不安：コロナ禍における救急隊員のストレス (8)  
畑中 美穂 (名城大学人間学部)
- P-6 クラスタ発生施設の医療・介護従事者に対する心理社会的支援：活動報告  
佐藤 秀樹 (福島県立医科大学医学部災害こころの医学講座)
- P-7 COVID-19 流行による全国一斉臨時休校期間中のオンライン授業と思春期メンタルヘルスの関連：疫学横断調査による検証  
森島 遼 (東京大学大学院医学系研究科精神医学、公益財団法人医療科学研究所)
- P-8 コロナ禍や戦争報道下における児童精神科病棟での活動報告  
吉田奈緒美 (医療法人財団 青溪会 駒木野病院)
- P-9 航空自衛隊における気分「感情」障害並びに神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害新規受診者のディープニューラルネットワーク分析  
北野 誠人 (防衛医科大学校 防衛医学研究センター 行動科学研究部門)
- P-10 医療従事者の心理的反応と共感特性及びストレス対処との関連に関する研究  
脇 文子 (防衛医科大学校防衛医学研究センター行動科学研究部門)
- P-11 犯罪被害者遺族のサポート・グループにおける支援者の困難への対応と留意点の検討  
佐々木健太 (みやぎ被害者支援センター)
- P-12 困窮者支援従事者のトラウマ理解と共感満足・共感疲労との関連  
小川恵美子 (大阪大学大学院人間科学研究科)
- P-13 小児医療におけるトラウマインフォームドケアの普及啓発に関する調査  
三宅和佳子 (大阪母子医療センター 子どものこころの診療科)
- P-14 児童福祉領域におけるトラウマインフォームドケア研修受講の実践への影響  
酒井佐枝子 (兵庫県こころのケアセンター)
- P-15 いじめ被害者への有責性認知の測定における再検査信頼性の検討—いじめ被害者の責任割合を変数として—  
福井 義一 (甲南大学文学部人間科学科)

- P-16 日本語版いじめ被害者非難的態度尺度の開発 その1—内的整合性と再検査信頼性の検討—  
堀 孝司 (甲南大学大学院人文科学研究科)
- P-17 強い怒りを特徴とする Complex PTSD 患者に対する NET (ナラティブ・エクスポージャー・セラピー) による治療  
荒川和歌子 (南平岸内科クリニック 臨床心理部門)
- P-18 虐待周縁的な養育環境の把握の試み— 15 項目版甘えられない環境尺度の作成—  
赤堀 梓 (静岡市児童相談所)
- P-19 スコーピングレビュー：逆境的小児期体験を持つ 0 – 5 歳児に対する愛着ベースの介入  
後藤 貴子 (エモリー大学ローリンス公衆衛生大学院行動・社会・健康教育科学部)
- P-20 逆境的小児期体験がその後の精神健康に影響を及ぼす学習メカニズムの検討  
——脅威と剥奪の次元に着目して——  
二橋みづき (徳島中央警察署)
- P-21 認知処理療法に関する研修の効果に関する観察研究—オンデマンド研修の前後による分析から—  
中山 千秋 (国立精神・神経医療研究センター認知行動療法センター、  
武蔵野大学大学院人間社会研究科博士後期課程)
- P-22 認知処理療法の導入を支援するための小冊子の開発  
佐藤 珠恵 (国立精神・神経医療研究センター 認知行動療法センター)
- P-23 ジェンダーの視点による DV・性暴力被害者への心理的支援の取り組むの広がりに向けて  
周藤由美子 (NPO 法人日本フェミニストカウンセリング学会)